

第170回直木賞ノミネート作品


秋田キャンパス図書館カウンター前に展示中！

直木三十五賞

文壇春秋の創業者・創始者が、友人である直木三十五の命を記念し、芥川賞と同時に昭和10年に制定しました。新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本のなかから、最も優秀な作品に贈られる賞です。受賞作は100万円、授賞は年一回、上半期の選考会は7月中旬に行われ、受賞作は「オール读物」9・10月号併号に一部掲載されます。下半期の選考会は翌年1月中旬に行われ、「オール读物」3・4月号併号に一部掲載されます。

**直木賞 受賞者発表は
2024年1月17日(水)**

第170回直木賞ノミネート
女の生き方を描く
大正から昭和へ、戦前戦後



著者紹介
梶野洋子 (カノノヨシ子)


第170回直木賞ノミネート
青春感動作
京都が生んだ、やさしい奇跡。



著者紹介
万城目学 (マンジョクガク)

八月の御所グラウンド

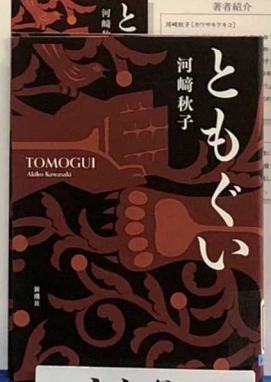
第170回直木賞ノミネート 落涙必至
傑作歴史



著者紹介
村松道平 (ムラマツミチヘイ)

貸出中
貸出中の図書は予約ができます


第170回直木賞ノミネート
熊文学の到達点



著者紹介
河崎秋子 (カワサキアキコ)

ともぐい


第170回直木賞ノミネート
生きるために描く。か
の味になる。



著者紹介
宮内悠介 (ミヤウチヒロノスケ)

貸出中
貸出中の図書は予約ができます

第170回直木賞ノミネート
**激動する社会のもとで
同じ時を過ごした少年・少女たち**



著者紹介
宮内悠介 (ミヤウチヒロノスケ)

探して クラウリ・ケースを

ノミネート作品